

2026年3月16日 WBS 事務所

3月14日（土）のキックオフイベントへのご参加をありがとうございました。  
履修ガイダンスにおいて、質疑応答の時間が十分に取れず、申し訳ありませんでした。

回答が駆け足・不十分になったご質問や、回答できなかったご質問がありましたので、改めて回答を以下にまとめましたので、適宜ご参照いただけましたら幸いです。

なお、本内容は 2026年度入学者向けの内容です。2025年度以前の入学者には当てはまらない内容もありますので、ご注意ください。

【赤字：ご質問内容、黒字：事務所からの回答】

■

ご説明ありがとうございました。1点質問です。日英科目を取得し、合格となった場合、修了時の成績証明書にも合格Pと表現されるのでしょうか？

はい、Pと表示されます。

<https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/2021/03/02/transcript-certificate/#1-2>

■

ご説明ありがとうございます。P13でご説明頂きました「海外開講科目（シンガポール、タイにて開催）」についてですが、「2026年度 経営管理研究科時間割【講義科目】」には記載がないかと思えます。別途違う場所に詳細記載はありますでしょうか？

以下のページ内の、

<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/students-and-alumni/class>

「英語で実施される科目についてはこちら」からご確認ください（海外開講科目は使用言語が英語です）。

WBS では英語で開講される科目が多数あり、ウェブ科目検索でも表示されます。各科目の使用言語はシラバスをご確認ください。

■

春期集中講座で、1-5限の授業と夜間6-7限の授業は時間がかぶるので取れないという理解であっておりますでしょうか？

集中講義に限らず、一般に 5 時限と夜間 6 時限は時間の重複があるため、重複履修はできません。(研究科要項 P.24 もご参照ください。)



同一の科目名で、担当教員が異なる科目は履修の申請を出来ますか？

担当教員・講義内容・言語が異なっても、同一科目を重複して履修・申請はできません。(研究科要項 P.10、13 もご参照ください。)



本日投影の資料は掲載されておりますでしょうか？すでにご案内済みでしたら申し訳ございません

以下に掲載していますので、適宜ご確認いただけましたら幸いです。

<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/students-and-alumni/registration>

※当日チャットでフォローいただいた方、ありがとうございました。



ご説明ありがとうございます。本ガイダンスがあいにく途中参加でしたが録画などありますでしょうか？フォローの方法を教えてくださいと幸いです。

恐れ入りますが、録画はありません。基本的に資料に沿って説明しておりますので、資料をご確認いただければと思います。



集中科目は日時が重ならなければ複数取ることは可能ですか？

はい、可能です。ただし、講義時間外に課題や予復習に費やす時間も考慮に入れて、問題無く履修できるかご自身で事前によくご検討ください。



海外開講科目は渡航費など別途料金が発生する認識で良いでしょうか？

はい、渡航費・宿泊費など、自己負担が必要です。



ご説明有難うございます。2点お伺いさせて下さい。1つ目は、S A値について、成績の相対評価でA+、Aが全体の40%ということで、6割がB以下になるとすると、平均0.8になってしまう方は相当数いるものなののでしょうか？2つ目は、コンセントレーション制度についてです。こちらは履修によってどういう意味合いがあるのでしょうか？資格が得られるということなどでしょうか？

1点目について、相対・準相対評価を設けておりますが、S.A値が0.8以下となる方は限定的です。また、コア科目（相対評価）は書いていただいたとおりですが、選択科目（準相対評価）の場合はA+とAの合計は「正規履修者+5名」の50%以内です。

2点目について、コンセントレーションは、資格ではなく、あくまで大学（経営管理研究科）が当該修了を認定・証明することで、当該分野を体系的に学んだことを対外的に示せるようにする制度です。



集中科目講義の一覧表を先ほど画面投影いただいておりましたが、どこからアクセスできるか再度ご教示いただけますと幸いです。

画面遷移が慌ただしくなり、失礼いたしました。

<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/students-and-alumni/class>

内の「集中講義」にあります。



### 1. 試験の時期はいつになりますか？

⇒試験の有無も含め、科目により異なります。各科目のシラバスをご確認ください。

### 2. 過去抽選があった科目は公開されていますか？

⇒以下に、1次登録で抽選となった科目を公開しています。ただし、2025年度までは1次登録が一部のプログラムの学生に限られていましたので、2026年度と条件が異なる点にご留意ください。

<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/students-and-alumni/registration>

（「2. 科目登録関係資料」内）

### 3. 原則対面講義と思いますが、オンライン講義もあるのでしょうか？

⇒ごく少数ですが、あります。

#### 4. ゼミ選択は成績が影響しますか？

⇒ゼミの選考方法は各ゼミ教員に委ねられています。定員超過による選考が発生した場合に成績を用いることがあります。

#### 5. 夜間 MBA で年間最大何単位とれますか？（だいたい大丈夫です）

⇒制度上の上限は、学期で最大 22 単位ですので、年間 44 単位です。（制限はあくまで学期単位でかかるものですので、それに応じて年間 or 在学中の履修単位上限をご確認ください。）なお、自由科目（卒業単位に含まれない科目）の単位数は含まれません。

#### 6. 説明ありませんでしたが、早稲田メールアドレスはどのように使いますか？

⇒システムにログインするための ID としての役割や、大学からの各種お知らせや連絡が送付されるなど、重要な役割を果たします。入学後、大学からのお知らせは早稲田メールのみ送信されます。日常のご確認いただきたく、お願いいたします。プライベートアドレスや会社のアドレスに転送している方も多いようです。



#### 海外科目が春学期と秋学期どちらか一つしか取れない認識で良いでしょうか？

はい。現状、海外開講科目については春学期・秋学期でどちらかひとつのみ履修可能です。なお、秋学期の海外開講科目の開講は現時点では未確定です（スライド中に「予定」と記載したとおりです）。



#### 夜間主の M2 で行われるゼミの曜日は予め公表されることはありませんか？M1 で取らなければならない科目を把握しておきたいです。

恐れ入りますが、2027 年度のゼミおよび講義科目の開講時期・曜日は確定しておらず、シラバス公開は 2027 年 3 月初旬頃の予定です。ただし、夜間主のゼミは金曜日・夜に担当されることが多いです。

また一般に、各科目は、開講学期・クォーター・曜日・時限が前年度と同一とは限りません。



#### 授業開始後に業務都合等でどうしても出席できなくなってしまった場合に科目を取り消すことはできますか？

所定の取消期間以外での取消は原則として認めておりません。業務都合で出席できないコマがある場合は、まず担当教員にご相談ください。



先ほど見せてくださった卒業生の昨年の履修単位の平均数は、ゼミと修士論文の単位含みでしょうか？

履修ガイダンス P.32 のスライドは、2025 年度入学者が 2025 年度中に履修した単位の平均値を示しています。ゼミ・論文の単位は、1 年制総合においては含まれており、夜間主総合においては含まれていません。



夜間主の学生です。シラバスにて土曜日にとれる授業の授業名で、たとえば  
アントレプレヌールシップ（夜間主）←この（夜間主）  
とあるものとなない授業名がありますが、夜間主の学生はどちらでも取れますか？

以下ウェブサイトにある「講義系科目」内の「選択科目」であれば、所属プログラム（全日制 MBA、夜間主 MBA）によらず、全ての科目が履修可能です。なお、ご参考として、「(夜間主)」は 2025 年度以前のカリキュラムの兼ね合いで科目名に含まれているものです。

<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/students-and-alumni/class>



HP の科目登録ページに記載されております、3.他研究科科目の履修について、という欄に他研究科のリンクがありますが、此方は単位になるもの、ならないもの全て含んでいるが、履修は可能であるもの、という理解で良いでしょうか？

基本的にご理解のとおりです。（リンク先の URL に記載されている、あらゆる資料全てについて履修可能な科目を示すとは限りませんので、大学院生へ開放されている旨の科目のリストをご参照ください。）



1 年次と 2 年次の推奨科目はありますか？（前提知識として必須科目履修後にすべきなど）

特に推奨科目はありません。（念のための補足で恐縮ですが、必修コア科目は 1 年次の履修を強く推奨します。）



集中講義は抽選になるものが多いですか？それとも申し込みをすれば申請が通るものが多いですか？

集中講義は抽選になる可能性が十分にあります。

これは、夏（春学期）の集中講義は大学のオープンキャンパスにより、冬（秋学期）の集中講義は学部入試により、一定以上のサイズで利用可能な教室に限られるためです。

以上